

BPT (バイオマスプロジェクトチーム)だより No.26

http://www.pref.chiba.lg.jp/syozoku/e_ichihai/bio/biotop.htm



平成19年1月12日 (金)
バイオマスプロジェクトチーム
(環境生活部資源循環推進課)

新年明けましておめでとうございます。

日頃、バイオマス利活用の推進にご理解、ご協力を賜り、心から御礼申し上げます。

平成18年は木質バイオマス利活用促進事業、国と協力して実施している農林水産バイオリサイクル研究、バイオマスプラスチック導入事業、国の交付金等を活用した事業者支援、シンポジウムの開催、各種普及啓発活動などを積極的に展開してきたところであります。

平成19年も皆様のご協力をいただきながら、千葉県らしさを生かした「バイオマス立県ちば」の実現に向けて取り組んでまいりますので、よろしく願いいたします。

バイオマスプロジェクトチームリーダー

1. シンポジウムの開催

12月19日、千葉市文化センターにて、東京大学寄付研究ユニット「荏原バイオマスリファイナリー」、東京大学農学生命科学研究科、東京大学生産技術研究所と共催で「バイオマスシンポジウム2006」を開催しました。

関係企業、自治体関係者など約100名の参加があり、バイオマスプロジェクトチームからは食品残さを豚と鶏の飼料にする施設の整備支援について情報の提供を行いました。



バイオマスシンポジウム2006

2. 普及啓発活動・その他

○アグリコクーン※

12月1日、東京大学にてアグリコクーン月例セミナーが開催され、バイオマス

プロジェクトチームから「千葉県におけるバイオマス利活用の取組み」という演題で講演を行いました。

参加者は教員や大学院生を中心とした約50名で、食品残さの飼料化について安全性や品質、安定供給などについて質問がありました。

※アグリコクーン(AGRI-COCOON)とは東京大学大学院・農学生命科学研究科に新しく開設された、「産・学・官・民」の連携による、大学院教育のさらなる発展と充実を図る機構で、専攻の枠を超え幅広く学べる場を大学院生に提供する新しいプロジェクト。



アグリコクーン月例セミナー

○山武市立山武南中学校で展開されるバイオマス環境学習（その5）

テーマ「“雑草”と“牛のうんち”で水素自動車とメタン自動車を走らせよう」

6回目となった12月7日（木）の授業では、バイオマスエネルギー利用の実験を行いました。

実験1では、身近に生えている“雑草”から簡単な方法で水素を作り出して、その水素を使って燃料電池ミニカーが本当に走るか実験しました。

生徒が雑草水素を注入すると燃料電池車が走り出し、いっせいに歓声があがっていました。

実験2では、香取市の山田バイオマスプラント（実証試験中）の関係者にご協力をいただいて、バイオマスプラントでの取り組みを説明した後、生徒たちが見守る中、牛のうんちと野菜くずから作ったメタンガスで走るバイオガスバイクとバイオガス自動車の運転を行いました。



雑草水素で燃料電池車を走らせる実験1

○生涯大学校南房学園

12月12日、生涯大学校南房学園にて「地球環境」をテーマとし、バイオマスの利活用の推進も含めた講演を行いました。（出席者22名）

「水の中で分解する釣り糸はないのか？」などの地域に密着した質問がありました。



生涯大学校南房学園